

平成27年度第3回南相馬市事務事業事前評価結果

2	事務事業名	南相馬市防災備蓄倉庫整備事業	担当課	復興企画部危機管理課
---	-------	----------------	-----	------------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか 地震、津波、洪水等の自然災害等の避難者（地域防災計画 津波浸水域ハザードに基づき想定避難者数を9,000人と算定）
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか 災害時に避難者へ備蓄物資等を配布する。
	結果	どのような結果をもたらすのか 行政が担うべき防災備蓄を行い、移送体制を構築することで、災害避難に対し円滑な備蓄物資を供給することができる。

手段	萱浜ニュースポーツ広場（所在地：原町区萱浜字巢掛場45）、オフサイトセンターの隣接地に防災備蓄倉庫を建設する。（平屋建、敷地面積約6,000㎡、延床面積約700㎡）9,000人分の食料、飲料水、生活物資を3日分整備する。	事業費（千円）	平成26年度	4,050
		平成27年度	1,512	
		平成28年度	173,461	
		平成29年度	295,090	
		平成30年度	11,090	
		合計	485,203	

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか 市民アンケートを実施し、大規模災害に備え、市が行うべき防災対策の一番に「食料、飲料水等の備蓄」との結果を得ており必要性が認められている。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか 本市における備蓄は市民備蓄が基本であるが、大規模災害時においては家屋の倒壊や停電、断水等により多数の避難者の発生が予想され、また、今回の大地震を経験として発災後から3日程度は広域応援による物資の補給支援が困難になることが予想されることから、市は避難者に対して、食料、飲料水及び生活必需物資を備蓄し、災害時に配布することが必要である。
	有効性	成果の期待度 どのような効果が期待されるか 行政の役割に対応した適正な防災備蓄が出来る。 災害時に避難者へ備蓄物資等を配布することが出来る。
	その他	優先性等 備蓄倉庫を整備し、行政が担うべき防災備蓄を行うことで、災害避難に対し円滑な備蓄物資を供給することができる。また、国の交付金（復興交付金）及び震災復興特別交付税を活用することにより、市の負担を軽減しながら施設を整備することができる。
	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。

委員会評価	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。
	付帯意見	なし。

対応方針	議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 （平成28年3月議会に予算計上）
------	--